

ここは公園？ 大学構内!? 楽寿の園 高齢者総合福祉エリアを 巡ってみた!

地域の高齢者福祉に全力を注ぐ、社会福祉法人 楽寿会。この広〜い園内には、様々な役割を果たす画期的な施設がたくさん!
「その一部であっても紹介したい!」と、編集長小田が巡ってきました♪



するーかる 小田



やりがいを持って働いています!

最優秀賞受賞者のみなさん

B 特別養護老人ホーム 楽寿の園

180名の定員を誇る特別養護老人ホーム。診療所を併設した、高齢者総合福祉エリアの基幹施設です。居宅介護支援センター(ケアプランの作成)・短期入所生活介護(ショートステイ)も行っています。ホテルのような施設内では、日常的に音楽療法士による音楽療法を行っているそうです。療法士はハープを、利用者さんはトーンチャイムを使い毎日合奏会が楽しめ、常に高い水準で自立を支援するスタッフのみなさん。静岡県主催の介護技術コンテストでは、最優秀賞受賞者を続々輩出し、努力の結果は随所に表れています。フロアに注がれるたっぷりの陽光と植物…。人・設備共に抜群の環境が整っていました。

A 介護老人保健施設 (通所リハビリテーション) 楽寿

在宅復帰のため、医師による指導のもと理学療法士・作業療法士によるリハビリを行う施設。静岡市から委託され、静岡市葵区美和地域包括支援センターを設置。また訪問介護ステーションも設けられ、在宅時のアフターケアも万全です!「美和地区も高齢者が増加傾向にありますが、比較のお元気な方が多いように見受けられます。ご自宅で健やかに過ごすためのお手伝いができれば嬉しいです」と話す松田ドクターの笑顔も魅力的でした。



様々な種類のリハビリがありますよ。



松田ドクター



浴場から見える庭園も美しく、心が洗われるよう。

C デイサービスセンター

自宅で日常生活を送り続けられるよう、日常生活上の支援・生活機能向上のための機能訓練を行います。驚いたのは、歯科衛生士による口腔機能向上サービス!口の中の雑菌は肺に入ると命に関わるのだそう!お年寄りの交流の場でもあり、孤独感や家族の介護負担の解消にも繋がっています。

G 園内のパワースポット!?

平成3年に皇太子殿下が施設視察にお見えになったことを記念して建てられた石碑。石碑前の小道や柳の広場など、園内には花や植物で溢れ、とても心地よい気持ちで散歩できます。



D らくじゅの家

家庭的な雰囲気の中で生活できるグループホーム。定員の6人を家族の1単位として捉え、昔ながらの風習を大切に暮らして送っています。味噌や干し柿を作るなど、四季折々の楽しみも様々。

F コミュニティホール 楽寿

400人を収容できる大きなホール! ボランティアの方のコーラスや、近隣の幼稚園の演劇など様々な慰問が行われます。立派なホールでの発表とあり、皆さん練習に余念がありません。充実した内容が感動を呼び、中には涙する人も。感性が刺激される日々って素晴らしい!

I 足久保らくじゅの家

1階ではデイサービス・介護予防教室を行い、2階は認知症対応型のグループホーム。施設の畑で園芸療法を行っており、季節ごとの野菜を育てているそう! 農家をしていた利用者さんのアドバイスを取り入れるなど、利用者さんも培ってきた知識を存分に発揮。これからはジャガイモとえんどう豆の収穫時期。わくわくですね!



「しぞ〜かでん体体操」の実施施設です。



どなたでも参加できますよ!



手作りのお菓子箱



お気楽カフェ
どなたでもOK
OPEN

E ケアハウス サンライフらくじゅ

1人で生活するのがちょっと不安、という60歳以上の方が安心を得ながら自立した生活を送るための「介護を予防する住まい」。老人福祉法で規定された施設として、全国第1号のモデル事業として建設されたそう! 1日3食の美味しい食事が提供され、希望すれば福祉エリア内の様々なサービスが受けられます。生活相談や緊急時は即時対応が可能です。入居者の平均年齢は驚きの87歳! 昨年からはまった認知症カフェも好評で、半日で45名も訪れる日もあるのだとか。カフェでは、介護予防のためのお話と美味しいお菓子をいただけます♪



アクション前の「言葉かけ」が大切!



包まれているような安心感! 眠ってしまいそうです。

H 地域密着型サービス 認知症対応型通所介護 楽寿の園 第2・第3 美和の家

認知症の方の支援が充実したデイサービス。和の雰囲気のモダンな内装が、ほっとした心地してくれます。お風呂は、通常のタイプから車椅子や寝た体勢で入れる最新タイプまでの3つが揃い、その日の気分で好きなものを選びます。しかも、気泡が出るのでジャグジー気分が入浴できるんです! 動作をする前には必ず「言葉かけ」を行い、不安感を完全に払拭。高齢者の負担になりがちな入浴も、生活の楽しみの一部に変身です!

ここから見える地域の すべての高齢者の“尊厳”を 守りつづけたいたい！

特養・老健・ケアハウスを中心に20事業を展開する「楽寿の園 高齢者総合福祉エリア」。ケアハウスにおいては全国第1号、これまで海外10ヶ国の視察を受け、画期的な評価基準を発表するなど先駆的な取り組みが注目されています。このダイナミックな展開の根本にある想いとは？ 理事長の有馬良建さんと、副園長の有馬万紀子さんにお話を伺ってきました！

すろーかる編集長
小田庸介

地上8階から
お届けします！

社会福祉法人 楽寿会
理事長 有馬良建

特別養護老人ホーム 楽寿の園
副園長 有馬万紀子

楽寿の園 地上8階の多目的ホール

小田 これはすごい眺望ですね！
美和地域が一望できます。

有馬 そうなんです。安倍川、竜爪山、南アルプス、それから地域に住む方々のお住まいが見渡せます。この景色を見るたびに、地域に対する責任を再確認していますよ。私たちが提供するサービスのご利用者様は、入所定員365名を含め約2000名、美和圏域（安倍川・美和・足久保）の人口が約11850名ですから、1割以上の方々と関わっていることになりました。

小田 それはかなりの人数ですね。活動の中で一番大切にしていることは何でしょうか？

有馬 高齢者の方の「尊厳」を守ることがです。私たちの活動はすべて、この理念に基づいています。

言葉づかいは 専門性のバロメータ

有馬 では、尊厳とは何かということについてお話ししましょう。まず福祉の仕事は、専門性が欠けると無意識のうちに身体的・心理的に不適切なサービスになりがちです。でも、長らくその専門性を具体的に評価する仕組みがなかった。だったら作るうと思ひ、従事者自身が自分の発言や行動を客観的に評価できる『言葉づかいチェックリスト』と『虐待防止チェックリスト』という書



待防止チェックリスト」という書を、高齢者虐待防止法ができる以前から作製していました。小田 チェックリストとは、具体的にどういったものですか？
有馬 たとえば、おばあちゃん、こつちにおいて、という言葉には親しみがありますが、従事者が使う場合は不適切です。それはいつしか力関係を生み、高齢者の尊厳を失う可能性があるからです。言葉づかいは専門性のバロメータ、赤信号になる前に気づくことが大事なんです。また表情や、アクション前の言葉かけ、パウ・コントロールも極めて重要。冬に冷たい手で接するの不適切です。これらも怠ると虐待につながる恐れがあります。当施設では全職員が徹底してチェックリストで評価＆改善し、より良いサービスに発展させています。静岡県主催の介護技術コンテストで最優秀賞受賞者を多数輩出しているのも、こうした取り組みの結果だと感じています。



積極的に町内行事に赴いては、地域のみな様と直接顔を合わせて話す機会を大切にしています。万紀子 楽寿の園があるとほっとする、この地域に引っ越して来たというお声をいただくことがあって、とても嬉しいです！
有馬 これからの私たちの使命は、地域のすべてのみな様に向けた豊かな暮らしのサポートだと思っています。たとえばレストランやカフェなど、食という身近な共通項をキーに、世代を超えて交流できる場所があったら素敵じゃないかと思っていますね。

すべての人に 豊かな生活を

有馬 我々は地域福祉に注力しています。楽寿会が静岡市から受託している「静岡市葵区美和地域包括支援センター」（賤機、俵沢にも有り）を展開し、在宅介護をはじめ、保健・福祉・医療など様々なサービスを包括して提供しています。そこには、悩みを抱え込まないで何でも相談して欲しい、という想いがあり、私も

小田 いいですね！ぜひ実行してほしいです。住む人が地域に愛情を持つとその地域は相乗的に発展していきますよね。地域の人々を主役に置き、暮らしに安心と彩りをもたらす御社の姿勢は、すろーかるに通じるところがたくさんあります。今後の取り組みに期待しています！

社会福祉法人 楽寿会
理事長 有馬良建 (ありよし たけ)
楽寿会の理事長であると同時に、静岡福祉大学 社会福祉学部 福祉心理学科 教授、静岡市議会議員、静岡県議会議員などを歴任。厚生労働大臣表彰等を受賞しています。



◎ 表面で「楽寿の園 高齢者総合福祉エリア」を紹介しています！